

おおたわら市

議会だより

令和８年
11月
１日号
No.227

〈 題 字 〉　黒羽高等学校 １年生　瀧本（たきもと） 由奈（ゆな）さん



「議会だより」は市議会ホームページでも閲覧できます。



「議会だより」は市議会ホームページでも閲覧できます。右の二次元コードからご覧ください。

また、議会だよりの内容を音声で聞くことができる『音訳（デイジー）版議会だより』をご希望の方は、福祉課（0287−23−8921）へお問い合わせください。

■発行：大田原市議会　■編集：広報広聴委員会　■印刷：新宮印刷株式会社　古紙配合率100%再生紙使用

令和7年度 一般会計ほか７会計決算を認定

決算審査特別委員会



委員長
大塚　正義



副委員長
藤田　善幸



決算審査特別委員会の様子

決算の概要

本定例会では一般会計ほか7会計の令和7年度決算の認定議案が提出され、議員全員で構成する決算審査特別委員会を設置し、審査を行いました。

令和7年度の一般会計及び各特別会計を合計した歳入総額は５４３億８８２０万７１２７円、歳出総額は５２０億６２２３万９７５５円、歳入歳出差引残額は23億２５９６万７３７２円となりました。

なお、決算総額を前年度と比較すると、歳入は20億７８６２万２７３４円（３．９７％）の増加、歳出においては21億２３９万１６５円（４．２１％）の増加となりました。（各会計の詳細は下記のとおり）

■一般会計及び各特別会計別決算の状況　（単位：円）

区分		予算現額	歳入総額（A）	歳出総額（B）	差引残額（A）−（B）
一般会計		39,756,874,000	37,623,907,562	36,110,854,300	1,513,053,262
特別会計	国民健康保険事業費	7,657,312,000	7,835,233,429	7,498,042,938	337,190,491
	介護保険	7,877,898,000	7,828,118,665	7,388,855,880	439,262,785
	子育て支援券	16,234,000	17,380,130	918,100	16,462,030
	後期高齢者医療	1,062,065,000	1,048,696,496	1,039,550,704	9,145,792
	須賀川財産区	41,200,000	34,870,845	24,017,833	10,853,012
	小計	16,654,709,000	16,764,299,565	15,951,385,455	812,914,110
合計		56,411,583,000	54,388,207,127	52,062,239,755	2,325,967,372

■企業会計決算の状況　（単位：円）

区分		予算額	決算額
水道事業会計	収益的収入	1,672,000,000	1,691,372,291
	収益的支出	1,592,000,000	1,522,647,755
	資本的収入※	457,216,000	263,158,673
	資本的支出※	1,097,500,000	816,071,940

※資本的収入額が資本的支出額に不足する額552,913,267円については、過年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、減債積立金及び過年度分損益勘定留保資金で補てんしています。

区分		予算額	決算額
下水道事業会計	収益的収入	1,962,983,000	1,976,020,877
	収益的支出	1,909,966,000	1,799,949,113
	資本的収入※	486,742,000	334,914,170
	資本的支出※	1,164,508,177	1,008,195,484

※資本的収入額が資本的支出額に不足する額673,281,314円については、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、減債積立金及び過年度分損益勘定留保資金で補てんしています。

令和８年 第３回 市議会定例会

令和８年第３回定例会（９月定例会）は、去る９月３日から25日までの23日間を会期として開かれました。

本定例会に市長から提出された案件は、令和７年度健全化判断比率及び資金不足比率についてなどの報告４件、大田原市教育委員会委員に係る人事案件２件、大田原市税条例などの条例改正案件７件、新型コロナウイルス感染症対策基金条例に係る条例廃止案件１件、令和７年度決算案件10件、宇田川橋橋梁補修に係る工事請負契約の変更案件１件、企業版ふるさと納税を活用した大学等支援事業補助金に要する経費などの補正予算案件４件（追加議案１件を含む）の合わせて29件であり、これに陳情１件を含め合計30件を審査しました。

９月定例会では、前年度の歳入歳出予算の執行に関し、認定審査を行います。審査は議員全員で構成する決算審査特別委員会を設置し、常任委員会ごとの分科会と全体会を通して行い、全て認定されました。

最終日は、各常任委員長、決算審査特別委員長より付託案件の審査結果の報告を受けた後、採決を行い、議案は全て原案どおりに可決され、陳情は不採択となりました。

一般質問は、４日間で16名の議員が質問を行いました。詳細につきましては７ページ以降及び市議会ホームページにて掲載していますのでご覧ください。

令和8年 第3回大田原市議会定例会 審議された議案等と結果

議案番号	議　案　件　名	結　果
報告第９号	市長の専決処分事項の報告について（大田原市認可地縁団体印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例の制定について）	報告受理
報告第10号	市長の専決処分事項の報告について（市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例等の一部を改正する条例の制定について）	報告受理
報告第11号	令和７年度健全化判断比率及び資金不足比率について	報告受理
報告第12号	令和７年度大田原市内部統制評価報告書について	報告受理
議案第65号	大田原市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同　意（全会一致）
議案第66号	大田原市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同　意（全会一致）
議案第67号	大田原市移動通信用鉄塔施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決（全会一致）
議案第68号	大田原市税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決（全会一致）
議案第69号	大田原市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決（全会一致）

議案番号	議　案　件　名	結　果
議案第70号	大田原市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決（全会一致）
議案第71号	大田原市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決（全会一致）
議案第72号	大田原市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決（全会一致）
議案第73号	大田原市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決（全会一致）
議案第74号	大田原市新型コロナウイルス感染症対策基金条例を廃止する条例の制定について	原案可決（全会一致）
議案第75号	令和７年度大田原市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	原案可決（全会一致）
議案第76号	令和７年度大田原市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	原案可決（全会一致）
議案第77号	令和７年度大田原市一般会計歳入歳出決算の認定を求めることについて	認　定（賛成多数）
議案第78号	令和７年度大田原市国民健康保険事業費特別会計歳入歳出決算の認定を求めることについて	認　定（賛成多数）
議案第79号	令和７年度大田原市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定を求めることについて	認　定（賛成多数）
議案第80号	令和７年度大田原市子育て支援券特別会計歳入歳出決算の認定を求めることについて	認　定（全会一致）
議案第81号	令和７年度大田原市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定を求めることについて	認　定（賛成多数）
議案第82号	令和７年度大田原市須賀川財産区特別会計歳入歳出決算の認定を求めることについて	認　定（全会一致）
議案第83号	令和７年度大田原市水道事業会計決算の認定を求めることについて	認　定（全会一致）
議案第84号	令和７年度大田原市下水道事業会計決算の認定を求めることについて	認　定（全会一致）
議案第85号	工事請負契約の変更について	原案可決（賛成多数）
議案第86号	令和８年度大田原市一般会計補正予算（第２号）	原案可決（全会一致）
議案第87号	令和８年度大田原市介護保険特別会計補正予算（第２号）	原案可決（全会一致）
議案第88号	令和８年度大田原市須賀川財産区特別会計補正予算（第１号）	原案可決（全会一致）
陳情第４号	医療・介護提供体制の維持に向けた意見書提出を求める陳情書	不 採 択（賛成少数）
追加議案第1号	令和８年度大田原市一般会計補正予算（第３号）	原案可決（全会一致）

令和８年 第３回大田原市議会定例会における表決状況一覧

議案	齋藤藤男	秋山幸子	内藤幹夫	伊賀純	藤田善幸	北原裕子	津守那音	岡野忠	平山一浩	谷田雅洋	櫻井潤一郎	髙瀬重嗣	大豆生田春美	君島孝明	中川雅之	大塚正義	菊池久光	滝田一郎	前田則隆	前野良三	小野寺尚武
議案第65号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
議案第66号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
議案第67号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
議案第68号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
議案第69号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
議案第70号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
議案第71号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
議案第72号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
議案第73号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
議案第74号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
議案第75号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
議案第76号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
議案第77号	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
議案第78号	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
議案第79号	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
議案第80号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
議案第81号	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
議案第82号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
議案第83号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
議案第84号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
議案第85号	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	-	×	○	○	○	○	○	○
議案第86号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
議案第87号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
議案第88号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
陳情第４号	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	-	×	×	×	×	×	×	×
追加議案第１号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○

○：賛成　×：反対　欠：欠席　　※君島孝明議長は採決に原則加わりません

一般質問 市政を問う

一般質問とは

定例会において、議員が市民の代表として、行政全般にわたり市の考え方や施策の進捗状況及び将来における政策方針等を質すことです。また、議員は市長等の答弁を受け、疑問を質すことはもとより、市民の立場に立った事務事業の改善や政策提言をする議員の重要な権限です。

（次ページ以降の質問及び答弁に関する記事は、質問した議員が自ら原稿をおこし、広報広聴委員会が校正して掲載しています。なお、原稿提出があった方のみ掲載しております。）

※顔写真下の二次元コードから、質問動画を閲覧できます。

質問通告者と質問事項

順番	質問者	質問事項
1	大塚　正義	①ＮＨＫ連続テレビ小説「風、薫る」について ②電子投票の導入について ③市管理の施設内緊急通報の構築について **④市道等の歩道の除草管理について**
2	伊賀　純	**①本市発出の非核平和都市宣言40周年を迎えるに当たっての本市の平和への取組について** ②地域公共交通について ③電子投票導入について
3	大豆生田春美	①学童保育における長期休暇中の昼食提供について ②ＲＳウイルスワクチン接種について **③後期高齢者健康診査について**
4	前田　則隆	**①本市の目指す防災行政について**
5	滝田　一郎	**①新産業団地の最優先候補地である実取地区26haの整備推進及び先端デジタル企業の誘致について** ②約64haを有する記念樹の森構想地へのデータセンター等の産業団地の誘致について ③道の駅那須与一の郷の来客数等の減少と活性化に対する市の取組について ④一般国道４号沿線における新たな道の駅構想について
6	秋山　幸子	**①本市の基幹産業である農業・畜産業における生活環境・臭気対策について** ②災害情報伝達システムとしての防災ラジオの貸与について ③国民健康保険税の引下げについて ④児童生徒の水難事故防止のための消防署と連携した着衣泳の指導について
7	菊池　久光	①浄化槽台帳について **②公金収納について**
8	内藤　幹夫	①避難所の総点検について ②身寄りのない高齢者の支援強化について **③道の駅について**
9	谷田　雅洋	**①スポーツ施設整備について** ②ふれあいの丘の施設（シャトー・エスポワールを除く）及び隣接地の利活用について
10	平山　一浩	**①那須庁舎跡地利用について** ②市内公園の整備計画について
11	北原　裕子	**①周産期喪失におけるグリーフケアについて** ②拉致問題の啓発について
12	齋藤　藤男	①大田原営林署跡地の売却について **②相馬市長二期目就任挨拶の内容について**
13	髙瀬　重嗣	**①「住みよさランキング2026」について** ②第43回大田原与一まつりについて ③災害時の対応について ④大学生と市のつながりについて ⑤ＮＨＫ連続テレビ小説「風、薫る」終了後の対外アピールについて
14	中川　雅之	**①栃木県におけるプロフェッショナルスポーツ団体及び本市ゆかりの相撲部屋に対する支援及び連携・協力協定について** ②こども誰でも通園制度について ③「育児119（子育て支援サービス）」の新設支援について
15	津守　那音	①国際医療福祉大学との連携による医療・福祉人材の確保と、若者の市内就職・定住促進について **②クビアカツヤカミキリの被害拡大防止対策について**
16	小野寺尚武	**①行政評価と予算編成について** ②大田原市総合計画基本構想について ③第２期「大田原市文化財保存活用地域計画」の認定について

※太字が掲載されている項目

16人の発言

一般質問

市道等の歩道の除草管理について



大塚　正義 議員

質問：除草が必要な歩道等、どのような基準や判断により作業箇所を決定しているのか。また、国道や県道など県が管理する歩道は、市としてどのように対応し県へ情報提供や改善要請を行っているのか伺います。

答弁：植樹帯のない歩道は、道路パトロールや市民の通報により現地状況を把握し、道路課が対応するほか、状況に応じて業務委託により随時実施しています。県が管理する歩道は、具体的な場所や通行への支障の状況を確認し、大田原土木事務所に情報提供と対応依頼を行っています。特に通行量の多い通学路や交差点付近など安全への影響が大きい箇所は、緊急度を伝え早期の対応を求めています。

質問：国道等、雑草が繁茂し歩行者の通行に影響がある箇所も見受けられます。こうした環境は、大田原市のイメージにも関わるものであり、市民及び観光で訪れる皆様にとっても、決して望ましい状況ではありません。大田原土木事務所と連携し適切な除草と環境美化に努めるよう取り組む考えはないか伺います。

答弁：県と計画的かつ効果的な維持管理につながるよう連携を強化していきます。

本市発出の非核平和都市宣言40周年を迎えるに当たっての本市の平和への取組について



伊賀　純 議員

質問：ある学校は修学旅行で広島を訪れ、ある学校では被爆体験者の語り部を招き直接話を聞く機会を得る。一方で、そういう機会に恵まれないということは、学校によっては学びの差が出てしまうのではないかと思うが、教育委員会の認識を伺います。

答弁：被爆体験事業など、県に申込みをしても必ずしも派遣されるわけではないので、各学校の取組に任せています。

質問：各学校の教育内容に差が出る可能性があり、９年間の平和学習につながる教育システムの構築に取り組むべきであり、市で検討していただけないか伺います。

答弁：９年間を通した平和学習は非常に大切であり、教育委員会として、どのようなことができるか十分検討していきます。

質問：未来を生きる子供たちに、今だからこそ平和を考える原点として学び、戦争の悲惨さや平和の尊さを目で見て感じてもらうために、とても必要で大切なことであると考えるが、令和９年度の広島への中学生の派遣について市の考えを伺います。

答弁：直接行かなくても、動画教材で平和学習ができると捉えており、現時点で派遣は考えていません。

一般質問

後期高齢者健康診査について



大豆生田春美 議員

質問：検査項目に聴力検査を追加する考えはあるか伺います。

答弁：本市の健診受診者の９割が受診する集団検診では、正確な検査を行うために必要な部屋の確保が構造上困難であり、個別医療機関、いわゆるかかりつけ医での健診についても、診察室や待合室に隣接した場所では空調音や廊下の足音、患者の話し声などの背景雑音により正確な判断が難しいことから、聴力検査の実施は困難と考えています。

質問：高齢者向けの補聴器購入補助制度の新設について、市の考えを伺います。

答弁：身体障害者手帳を持たない軽度・中等度難聴の高齢者向け補聴器に関する補助制度は、県内８自治体が実施していることを承知しています。昨今、認知症に関する大学や研究機関の研究で、軽度難聴でも認知症の原因になるということが公表されています。本市でも、介護が必要になった主な理由は認知症が上位であるので、認知症予防の観点から、何らかの対策を行うことが有効だと判断しています。今後検討し、実施に向け、制度設計に着手したいと考えています。

本市の目指す防災行政について



前田　則隆 議員

質問：共助への支援について、市の防災訓練を通して、各地区の自治会などとの協力体制は、どのような成果を上げているのか。

次に地区を越えた広域的な連携組織についてどのように位置付け、どのような仕組みをつくり、支援していくのか。

そして自主防災組織が災害時に迷うことなく行動できるよう活動マニュアルを作成する考えがあるのか伺います。

答弁：大田原西部地区自主防災組織連絡協議会が、複数の自主防災組織による広域的な連携組織として活動しています。今年度から一部の自主防災組織に対し、地域の実情に応じた地区防災計画の策定を促しているところです。

広域的な連携組織への支援については、各自主防災組織に対して活動費補助金を交付しています。

現在、自主防災組織の活動のうち、自主避難所の開設・運用の参考マニュアルを作成しています。今年度実施する防災訓練において内容を検証し、必要な修正を加えた上で、各自主防災組織へ配付したいと考えています。

一般質問

新産業団地の最優先候補地である実取地区26haの整備推進及び先端デジタル企業の誘致について



滝田　一郎 議員

質問：２０１７年10月資生堂の誘致をもって市内の工業団地２８６haは、ほぼ完売となりました。実取地区の産業団地は、22年ぶりに本市における企業誘致の再出発を試みる開発です。サウンディング調査に向けて市としての早期の事業方針の明確化が求められています。地権者や関係団体との今後の年次計画について伺います。

答弁：土地所有者などの権利調査業務の実施に向け、準備を進めています。今年度中に民間事業者の意見や新たな事業提案などを把握するサウンディング調査を行い、来年度以降は調査結果等を踏まえ進めていきます。

質問：ＡＩ関連企業や先端デジタル企業を誘致する考えがあるか伺います。

答弁：幅広い業種を対象として、本市の産業特性や立地環境に適した企業を選定します。

質問：既存の高度製造業（医療用機器、高額機器等）との産業シナジー（相乗効果）の創出について伺います。

答弁：既存の高度製造業との連携や新たな製品の創出など地域企業とのシナジーが期待できることも重要な選定条件の一つになります。

本市の基幹産業である農業・畜産業における生活環境・臭気対策について



秋山　幸子 議員

質問：大田原市には、生乳生産農家が45軒、和牛などの専門肉用牛畜産農家が１１４軒ありますが、畜産農業者の持続可能性と地域住民との良好な地域社会を築くため、生活環境・臭気対策が求められています。

　家畜排せつ物の速やかで適切な処理による臭気対策は、畜産業の後継者づくりにも生かせるため、具体的な臭気対策に対する市の考えを伺います。

答弁：畜産関連の臭気については、地域住民からの相談や苦情により、現地を確認した時点で把握します。本市では、市単独補助事業として畜産環境保全対策事業により、微生物資材を利用した良質な堆肥の生産・活用、臭気の低減対策に対する支援を行うとともに、市ホームページにおいて、家畜排せつ物の管理や堆肥散布に関する注意喚起を行っています。

　臭気苦情の多い畜産農場に対しては、県と連携しながら、臭気の発生ポイントと臭気の強さを見える化する臭気マップの活用を促し、臭気の低減対策を支援しています。

　今後も関係機関と連携し、畜産経営と地域の生活環境の調和を図りながら、対策を進めます。

一般質問

公金収納について



菊池　久光 議員

質問：ｅＬ―ＱＲ（地方税統一ＱＲコード）活用による市税以外の公金納付について伺います。

答弁：地方税共同機構では今年の９月から地方税以外の公金収納においても利用が開始されますが、本市では年度途中の混乱を防ぐため、令和９年４月から開始を予定しています。新たに対象となる公金は、介護保険料、後期高齢者医療保険料や公会計システムにより納付書を発行している道路占用料、市営墓地使用料、市内施設の使用料、土地賃借料など、幅広い公金の収納が可能になります。

質問：介護保険料や国民健康保険税等を年間一括で金融機関の窓口で納付する場合、固定資産税のように一括納付書を交付して公金収納手数料の支出を減らし、市の歳出を軽減できないか伺います。

答弁：一括納付書の交付については、一度で全額を納められる利便性と公金収納手数料の削減が見込める一方、同封される一括分と各期分の納付書で二重に納付することが懸念されます。市の事務効率化や経費を軽減するためにも、本市では総合的に判断し、口座振替の利用を推進しています。

道の駅について



内藤　幹夫 議員

質問：一般国道４号矢板大田原バイパスへの道の駅新設に向け、どのような調査研究を行ってきたのか、現在の検討状況と今後の方向性について伺います。

答弁：浸水想定区域や用途地域など候補地周辺の状況について調査を行ってきました。また、道の駅整備に関する他自治体の事例や活用できる財源支援について情報収集を行っています。これまでの調査研究を通して新たな道の駅の整備には多額の費用が見込まれることや、運営面においても直売所への出荷を担う農産物の生産者の確保など解決すべき課題があることが分かってきました。今後の方向性については、新たな道の駅の検討前に、まずは既存の道の駅那須与一の郷の充実を優先して取り組んでいきたいと考えています。

質問：新たな道の駅について、国や県の支援制度を活用した場合、どの程度の財政負担が本市に生じるのか伺います。

答弁：財源内訳の詳細が公表されている茨城県那珂市の道の駅の例では、国庫補助による負担が事業費全体の約37％、県整備分が約10％、市債に対する交付税措置が25％で、市の負担割合は約３割となっています。

一般質問

スポーツ施設整備について



谷田　雅洋 議員

質問：大田原グリーンパークの女子トイレの行列緩和について伺います。

答弁：大田原グリーンパークのトイレは、管理棟に男子用、女子用及び多目的トイレを設置しているほか、グラウンドの中央の屋外トイレにもそれぞれ設置しており、男子用が計７基、女子用が計６基となっています。女子用が計６基となっています。令和６年度には洋式化改修工事を実施しています。ソフトボール大会など多くの大会が開催されていますが、これまでトイレの数が不足しているとのご意見は寄せられていません。グラウンドゴルフ大会等においては、参加者が一斉に休憩を取ることから、時間帯によってトイレの混雑が生じているものと認識しています。グラウンド中央部に設置している屋外トイレが十分利用されていない状況が確認されていることから、大会主催者等と連携し、利用者に対して分散利用を促すことで、既存施設の有効活用を図っていきたいと考えています。その上で、分散利用を進めても、なお混雑の緩和が図られない場合には、対応策を今後の検討課題としていきます。

那須庁舎跡地利用について



平山　一浩 議員

質問：大田原市中心市街地活性化事業等を活用した、那須庁舎跡地利用について伺います。

答弁：令和６年度に庁内で組織する調査研究グループにおいて市場調査等を実施し検討しましたが、当面は更地の状態で駐車場利用や民間事業者への貸付けを行いながら長期的に検討していきます。

質問：市街地の新たなにぎわいを創出するために観光協会・商工会議所・特産品直売所・フードコート・屋台会館等で構成する複合施設を整備する考えがあるか伺います。

答弁：商店街の衰退を食い止めるため、新たな複合施設を整備する提案は、市街地のにぎわい創出や産業振興の観点から、大変魅力的な提案であると認識しています。施設整備に当たり、多額の建設費用や維持管理費用が必要であるほか、当該地はトコトコ大田原から２００ｍ圏内の近接地であり、マルシェや飲食店など同様の機能を持った施設を近隣に整備することは、既存施設へ与える影響も懸念されることから、大田原まちづくりカンパニーや大田原商店連盟などと十分に協議をしていきます。

一般質問

周産期喪失におけるグリーフケアについて



北原　裕子 議員

質問：産後ケア事業の中のグリーフケアの位置づけ、ピアサポート分かち合い団体との連携状況について伺います。

答弁：産後ケア事業を平成29年度から開始し、令和７年４月の改正により、利用者の負担額を軽減するとともに、訪問型を導入しました。流産や死産を経験された方が乳幼児と同じ場所でのケアを受けることに精神的な負担を感じる可能性があることから、産後ケア事業を訪問型で対応可能な施設を確保し、流産や死産を経験された方が自宅でサービスを受けることが可能な体制を整え、適切な配慮と個別対応を実現しています。また、本市では、助産師が代表となり設立された、ピアサポート団体である「カーネーションの会」と連携し、市の広報やホームページを通じて、その開催情報を周知しています。

質問：生きるために必要なピアサポート団体を、那須広域で支援する考えはないか伺います。

答弁：那須地区広域事務組合と協議し、那須塩原市や那須町の意見なども聞きながら、支援について考えていきます。

相馬市長二期目就任挨拶の内容について



齋藤　藤男 議員

質問：歳入の確保、歳出の削減では市民の幸せを生まないのではないか伺います。

答弁：適切な歳入の確保と歳出の削減は、将来にわたって市民生活を守り抜くために必要な手段であると考えています。

質問：定住促進を目指した空き家の活用とは具体的にどのような方法か伺います。

答弁：空き家等情報バンク「とちぎ空き家サイト」などで広く情報発信を強化していきます。

質問：大田原市産の米の生産について、今後どのようなビジョンを持っているのか伺います。

答弁：関東有数の米どころであり、食味についても高い評価を得ています。この良質な米の生産を維持するため、関係機関と連携して需要に応じた安定生産を支援していきます。

質問：肥料も農薬も機械も全て高くなっているが、米の値段は今年は下がり、来年も下がるとなると、営農を続けていけないのではないかというところで、市としては何かできることはないか伺います。

答弁：大田原市産の米をブランド化していく方策を農業者とよく相談して、考えていかなければならないと思っています。

一般質問

「住みよさランキング２０２６」について



髙瀬　重嗣 議員

質問：政治家は、結果が悪い時はその責任を取り、政策を変えるなり、何か工夫していかなければいけない。知恵を絞ってあらゆる施策を展開する時期に、相馬市政が取ってきた財政健全化という名の緊縮財政、給食費補助の廃止と国の施策頼みの子育て政策、「やらない」ということをやった結果、県北唯一の百貨店だった東武宇都宮百貨店は８月31日で閉店した。出生数は前年の４分の３、住みよさランキングは令和３年の２７７位から見ると、なんと３７６番も順番を落とし過去最低の６５３位。大田原市より住みよくない市は１６１市しかない。市長の見解を求めます。

答弁：東武百貨店の閉店については、私の在任中ということで大変残念な結果ではあるが、市政が関係していることではないので、一つの会社が英断をしたということだ。出生数の低下は全国的な問題ということで国になんらかの施策を展開してもらいたいと思っています。

質問：市としてやることはないのか伺います。

答弁：いろんな話を聞きながら、政策を決めて実行していきたいと考えています。

栃木県におけるプロフェッショナルスポーツ団体及び本市ゆかりの相撲部屋に対する支援及び連携・協力協定について



中川　雅之 議員

質問：本市ゆかりの相撲部屋（二子山部屋等）に対する支援及び連携・協力協定について本市の考えを伺います。

答弁：二子山部屋においては、現在本市出身の力士が５名在籍し、厳しい勝負の世界に身を置き、日々鍛錬に励みながら、大相撲の舞台で活躍しています。その姿は、市民に大きな感動や勇気を与えるものであり、大変誇らしく感じています。また、こうした縁を背景とし、本市出身力士を中心とした相撲教室が開催できることは、子供たちの健全育成や相撲競技の普及・振興、さらには地域に根差したスポーツ文化の醸成にも大きく寄与していると認識しており、関係者の皆様に深く感謝申し上げます。二子山部屋や本市ゆかりの力士は、子供たちに夢や希望を与えてくれる貴重な存在であり、市にとって大切な人的資源であると認識しています。相撲教室等を通じて、これまで築かれてきた温かい人的なつながりや絆を大切にしながら、子供たちのスポーツ体験の機会づくりや広報媒体を活用した、市ゆかりの力士の応援、情報発信など、今できる形での連携協力を進めます。

一般質問

クビアカツヤカミキリの被害拡大防止対策について



津守　那音 議員

質問：クビアカツヤカミキリの被害が市内で拡大しています。被害拡大を防ぐためには、市民がクビアカツヤカミキリを知り、防除に参加する仕組みづくりも重要と考えます。市民参加型の防除対策として、成虫の捕殺に対する奨励金制度を導入する考えはあるのか伺います。

答弁：現時点では奨励金制度の導入は考えていません。他自治体の実施状況や効果、課題を把握するとともに、県の方針を注視しながら対応していきます。

質問：埼玉県川島町では、今年度７００万円の予算で約７万匹を捕殺しています。また、国はクビアカツヤカミキリ対策を含む外来生物対策として約50億円を概算要求し、県も新たな防除方法の研究を進めています。被害が拡大してからではなく、今の段階から一歩踏み込んだ対策が重要です。令和９年度から小規模でもモデル事業を実施する方向で検討できないか伺います。

答弁：奨励金制度も含め、様々な防除方法や費用面を総合的に判断し、できれば令和９年度予算の中に反映できるよう、庁内で検討していきます。

行政評価と予算編成について



小野寺　尚武 議員

質問：行政評価と予算編成について、現在の評価制度の課題をどう認識しているか、予算編成にどの段階でどのような基準で反映させるのか伺います。

答弁：自治基本条例第13条第２項の規定により、前年度の事務事業の執行状況、決算を基に行政評価を実施し、その結果を踏まえて次年度予算を編成しています。現在の行政評価制度の課題については、行政評価と予算編成の時期が一致していないことが挙げられます。行政評価は、毎年６月に事務事業評価、７月に内部評価、８月末までに施策評価及び政策評価を行い、９月議会の決算審査を踏まえ、行政評価の結果が出るのは10月末であることから、行政評価の結果を十分に反映した予算要求ができているとは言えない状況です。現時点では11月上旬から12月中旬まで実施している経営管理部長査定の際に、評価結果などを確認しながら予算に反映しています。今後は予算要求までに事業の継続・拡充・縮小・統合・廃止などの方向性を明らかにし予算査定段階で、評価スケジュールの見直しを検討します。

7月～9月　協議会及び委員会の内容

全員協議会

◆**7月17日**
（報告事項）
1 大規模災害時における応援に関する協定の締結について
2 議会一般質問等答弁事項に係る進行状況の報告について
3 那須地区消防組合議会臨時会報告について

◆**8月12日**
（報告事項）
1 令和７年度男女共同参画に関する年次報告書について
2 令和７年度普通会計決算　経常収支比率（速報値）について
3 敬老関係事業について
4 那須地区広域行政事務組合議会臨時会報告について
5 議場内執行部席の変更について
6 来年度の行政視察について
（協議事項）
1 大田原市議会公印規則を廃止する規則の制定について
2 大田原市議会公印規程の制定について
3 大田原市議会事務局処務規程の一部を改正する規程の制定について

◆**9月25日（臨時）**
1 令和８年度大田原市一般会計補正予算（第３号）について

◆**9月25日**
（報告事項）
1 窓口受付時間の短縮の本格導入について
2 ヘルプシールの作成について
3 大田原市緊急銃猟対応マニュアルの策定について
4 内水ハザードマップの作成について
5 令和８年議会報告会報告書の提出について

総務常任委員会

◆**9月11日**
1 付託議案の審査

民生文教常任委員会

◆**9月14日**
1 付託議案の審査

建設産業常任委員会

◆**9月15日**
1 付託議案の審査

議会運営委員会

◆**8月12日**
1 議場内執行部席の変更について

◆**8月27日**
2 来年度の議会運営委員会行政視察について

◆**9月3日**
1 令和８年第３回市議会定例会の招集について

◆**9月3日**
1 議案第85号工事請負契約の変更について

◆**9月25日**
1 令和８年度大田原市一般会計補正予算（第３号）について

決算審査特別委員会

◆**9月7日**
1 委員長及び副委員長の互選について
2 分科会の設置について
3 会議日程について

◆**9月11日**
1 第１分科会

◆**9月14日**
1 第２分科会

◆**9月15日**
1 第３分科会

◆**9月18日**
1 全体会

広報広聴委員会

◆**7月2日**
1 議会だより８月号について
2 議会報告会について

◆**7月17日**
1 議会報告会について
2 議会だよりの見直し（リニューアル）について

◆**8月12日**
1 議会だよりの見直し（リニューアル）について

◆**9月18日**
1 議会だよりの見直し（リニューアル）について

令和8年12月　定例会開催のお知らせ

会期（予定）　**12月4日(金)～12月18日(金)**

※一般質問内容など詳細につきましては、
後日議会ホームページで公開いたします。

市議会ＨＰはこちらから▶

令和８年議会報告会開催

議会基本条例に基づき、８月３日に議会報告会を開催しました。

今回の議会報告会は、国際医療福祉大学の学生を対象に意見交換会を行い、学生14名の方にご参加いただきました。

当日は、議会議員の役割や議会運営の仕組み、市民の声が市政に反映されるまでの流れなどについて説明するとともに、議場見学および模擬採決体験を実施しました。実際の議場で「インターネット投票の是非について」などの議案を設定した模擬電子採決の体験を行い、「国際医療福祉大学生と考える 大田原市の医療と福祉の未来について」をテーマに、３常任委員会に分かれて少人数による車座方式で意見交換会を実施しました。

意見交換会では、学生の発言を主体として、日頃の学生生活や実習等を通じて感じている本市の良いところや課題を出し合い、その解決策や大田原市への提案について議論を交わすことができました。

今回いただいたご意見やご要望は市政の課題と捉え、市長に報告書を提出するとともに、大田原市議会としても市政に反映できるよう努力してまいります。

担　当　班	場　所	学　生
Ａグループ（総務常任委員会） ◎滝田一郎、○津守那音、秋山幸子、谷田雅洋、 櫻井潤一郎、大豆生田春美、小野寺尚武	本庁舎７階 議会フロア	５名
Ｂグループ（民生文教常任委員会） ◎岡野　忠、○内藤幹夫、伊賀　純、髙瀬重嗣、 君島孝明、大塚正義、前田則隆		５名
Ｃグループ（建設産業常任委員会） ◎藤田善幸、○北原裕子、齋藤藤男、平山一浩、 中川雅之、菊池久光、前野良三		４名
◎：委員長　○：副委員長		計１４名

各班の報告書や、議会報告会の詳細については市議会ホームページにて公開しておりますので右の二次元コードからご覧ください。

議場全体





講義全体



Aグループ



Bグループ



Cグループ



議会報告会報告書提出

８月に開催した市議会報告会にご参加いただいた大学生から出されたさまざまな意見や要望を広報広聴委員会が「議会報告会報告書」としてまとめ、議長及び市長に提出いたしました。

今後とも議員一同、議会の活性化を図り、市民の皆様の負託に的確にこたえ、開かれた議会運営に努めてまいります。

津守委員長から議長へ提出



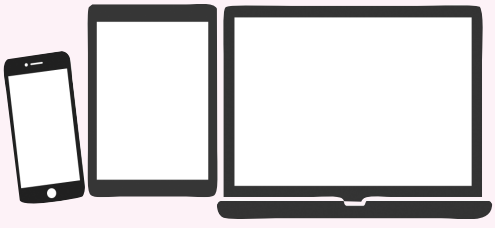
議長から市長へ提出



市議会ではインターネットによる生中継をしております

●アクセス方法

ご自宅等のパソコンから生中継をご覧いただく際は、大田原市議会ホームページから「議会中継」のページへお進みください。また、タブレット端末及びスマートフォンからも視聴できます。なお、本会議の録画映像も市ホームページにて配信しておりますのでぜひご覧ください。



●大田原市ホームページ

https://www.city.ohtawara.tochigi.jp/

●お問い合せ先

大田原市議会事務局　☎ 23－8714

議会日誌

7月

2日○広報広聴委員会
9日○那須地区消防組合議会臨時会
15日○井原市視察受入れ
17日○全員協議会
○改革等調査特別委員会
○広報広聴委員会
22日○議会運営委員会行政視察（富山県南砺市・黒部市・富山市　24日まで）
27日○栃木県市議会議長会議長会議
○栃木県市議会議長会議員研修会
29日○長崎県大村市視察受入れ
30日○那須地区広域行政事務組合議会全員協議会・臨時会

8月

3日○議会報告会
12日○会派代表者会議
○議会運営委員会
○全員協議会
○改革等調査特別委員会
○広報広聴委員会
22日○友好親善都市訪問（岡山県井原市　23日まで）
27日○議会運営委員会
○県北五市議長会議

9月

3日○令和８年第３回市議会定例会招集（議案上程）
○議会運営委員会
7日○本会議（一般質問）
○決算審査特別委員会全体会
8日○本会議（一般質問）
9日○本会議（一般質問）
10日○本会議（一般質問）
11日○総務常任委員会
○決算審査特別委員会第１分科会
14日○民生文教常任委員会
○決算審査特別委員会第２分科会
15日○建設産業常任委員会
○決算審査特別委員会第３分科会
18日○決算審査特別委員会全体会
○広報広聴委員会
○北海道大樹町訪問
25日○議会運営委員会
○全員協議会（臨時）
○本会議（議決）
○全員協議会

請願・陳情はこんな方法で

■請願（陳情）は、議会事務局へ持参してくださ　い。
■内容は簡単な趣旨、理由、提出日、請願（陳情）者の住所及び氏名を記載し、捺印して提出してください。
■用紙のサイズはＡ４版でお願いいたします。
■道路や水路等の場合は地図の写しや略図を添付してください。

〈請願（陳情）書の書式例〉

《表 紙》

○○○に関する
請願（陳情）

紹介議員名
（陳情は不要）　㊞

《内 容》

1. 請願（陳情）の趣旨
2. 請願（陳情）の理由

令和○年○月○日

請願（陳情）者
住所
氏名　㊞
大田原市議会議長あて

各常任委員会の活動

総務常任委員会
決算審査特別委員会
第１分科会



委員長報告▶



総務常任委員会審査の様子

民生文教常任委員会
決算審査特別委員会
第２分科会



委員長報告▶



民生文教常任委員会審査の様子

建設産業常任委員会
決算審査特別委員会
第３分科会



委員長報告▶



建設産業常任委員会審査の様子

市議会を傍聴してみませんか

市議会の本会議及び各委員会は一般に公開しており、どなたでも事前申込なしで傍聴できます。

傍聴を希望される方は、会議当日に受付簿に住所・氏名・年齢をご記入いただきます（本会議は本庁舎８階受付、各委員会は７階議会事務局窓口にて）。

市民生活にかかわる市政方針や各種政策、予算・決算等に関する審議の様子を間近でご覧いただけますので、ぜひ傍聴してみてください。また、都合により議場へお越しになれない場合はインターネットによる本会議の生中継をご覧ください。